

農山漁村地域整備計画 事前評価調書

計画の概要	計画の名称	岐阜県農山漁村地域農業農村整備計画(草地畜産基盤整備分野(郡上地域))
	計画策定主体	岐阜県
	対象市町村	郡上市
	計画期間	平成31(2019)年度～令和6年度(2024)年度(6年間)
	計画の目標	中山間地域の遊休農地を有効活用し公共牧場の再整備や担い手による自給飼料増産と乳用牛・肉用牛の増頭を図り、酪農及び飛騨牛の主産地として継続的な発展を図るとともに、中山間地域の産業を創出し地域経済の活性化を推進する。
定量的指標	① 岐阜県郡上地域における酪農、飛騨牛の主産地を形成するため、郡上市の肉用牛、乳牛飼養農家6戸に係る意向調査を3回程度行い、事業実施計画1地区を作成する。 ② 公共牧場を再整備し、預託放牧可能頭数を84頭→95頭とする。 ③ 草地造成整備による自給飼料増産により、乳用牛、肉用牛の飼養頭数を516頭→841頭とする。 ④ 家畜保護施設等を整備し就農環境を整えることにより新規就農者1名を育成する。 ⑤ 家畜排せつ物の適正な処理、土地還元のため、家畜排せつ物処理施設4棟を整備する。	

ランク	評価基準	判定基準
評価 I	全項目が○である。	事業の実施
評価 II	1項目でも×がある。	計画の見直し

<b>評価結果</b>
<b>評価 I</b>

項目	評価項目	評価	評価根拠
目標の妥当性	・関連する計画との整合性が図られているか	○	ぎふ農業・農村基本計画:「売れるブランドづくり」に「繁殖雌牛の増頭対策、牛舎整備等を支援」と位置付けられている。 酪農及び肉用牛生産近代化計画:計画の中での増頭を図るための施策に本事業を位置付けている。
	・地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	遊休農地の有効活用等により自給飼料生産面積を拡大、生産コストの低減を行い、足腰の強い経営体を育成、かつ新たな担い手を受け入れるため畜舎、堆肥舎等生産環境の整備を早急に進めていく必要がある。
	・整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	計画の目標を達成するため、項目ごとの具体的な数値を定量的指標としているため、整合性は図られている。
整備計画の効果・効率性	・事後評価ができる適切な指標となっているか	○	定量的指標は事業実施により確認、または参加農家への聞き取りにより確認できる指標となっており、正確に事後評価できる。
	・構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	定量的指標は本事業実施により期待される効果を数値化してのものであり、適切である。
整備計画の実現可能性	・円滑な事業執行の環境が整っているか	○	県、市、公社による事業推進体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。
	・地元の機運が醸成されているか	○	市、事業参加者の事業実施意欲は高く、事業実施に対する同意が得られている。また、各参加者は事業実施にあたり借地契約等を整えており、地元の機運は醸成されている。